

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協



県南・県西・鹿行ブロック会員交流会を開催
主催者代表挨拶をされる販支部長



総務担当者向け研修を開催 講演される皆川雅彦氏

CONTENTS

- 01 経営者協会創立70周年記念事業
「いばらき塾」を開催
- 03 県南・県西・鹿行ブロック会員交流会を開催
デポルターレ・パートナーズ代表の為末大氏が講演
- 04 寄付講座 常磐大学での講演録
「起業から現在までの道のりと働くということ」
株式会社鈴木ハーブ研究所 代表取締役社長 鈴木さちよ氏
「ローカルラジオの現在と未来 ～活字、音声メディアの復権へ～」
株式会社茨城放送 代表取締役社長 北島重司氏
「会社に求められる人材と会計事務所の業界」
コンパス・ロイヤーズ会計事務所 代表税理士 井野武士氏
- 07 委員会報告
地域／経営教育／科学技術
- 08 支部だより
日立／常陸那珂／古河坂東／鹿行／
- 11 NPO情報Vol.216 茨城NPOセンター・コモンズ代表理事 横田能洋
「制度に縛られない取り組みについて」
- 12 セミナー・事業のお知らせ

創立70周年記念事業「いばらき塾」を開催

茨城県についてもっと知りたい、茨城県の知識を深めたい、とのニーズにお応えすべく茨城大学の協力を得て、各分野で造詣の深い方々にお話いただく「いばらき塾」を次の通り全4回シリーズにて開催致しました。

○第1講 茨城県の歴史

7月3日（火）於：産業会館大会議室

①「常陸中世史の特質－佐竹氏から考える－」

茨城大学人文社会科学部教授

前図書館長 高橋 修氏

②「常総の近世－政治的・経済的特色－」

茨城県立歴史館資料科学芸部長

永井 博氏

○第2講 茨城県の注目される人物・エピソード

7月19日（木）於：産業会館研修室

①「長久保赤水が作成した地図

－19世紀前半の欧米への影響－」

茨城大学教育学部副学部長

小野寺 淳氏

②「鹿島神宮の不思議」

鹿島神宮宮司

鹿島 則良氏

○第3講 茨城の農産物・特産品・食文化

9月11日（火）於：ホテルレイクビュー水戸

①「首都圏を支える茨城県の農産物」

茨城大学農学部教授 井上 栄一氏

②「茨城県民は何を食べてきたか？」

中川学園調理技術専門学校

校長 中川 純一氏

○第4講 現地視察会～企業人が選ぶいばらきの

見学スポット22からセレクト～

9月14日（金）

①木内酒造

②JX金属 日鉱記念館

③日立製作所 小平記念館



第1講永井氏講演



第1講高橋氏講演



第2講鹿島氏講演



第2講小野寺氏講演

「いばらき塾」では、本県の歴史文化面を中心にスポットをあてました。

受講後のアンケートでは、次の様なご感想やご意見をいただきました。

「中世の茨城の時代背景や歴史の流れの一部を理解できた。人物への興味、郷土への親しみを感じた。」

「茨城県の県民性などを歴史を通して学べたことは茨城県初心者にとってもわかりやすい内容だった。」(第1講)

「長久保赤水をはじめ、地図史上での重要人物が茨城県から出ている事を初めて知り、興味深く聴講した。」

「茨城に鹿島神宮があることを誇らしく思えた。」(第2講)

「茨城県の作物の多様性と品質向上に全県で取り組んでいる事を感じた。」

「食菜録※の再現は苦労もあったと思うが、他県から来た私にとって茨城の食文化を知るうえで興味ある内容だった。」

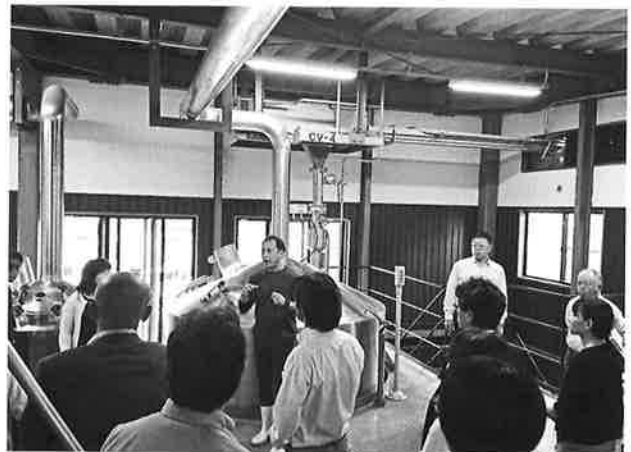
※食菜録＝水戸家に伝わる料理書。烈公德川齊昭公著。(第3講)

また、第4講の現地視察会では、鉾山から海へ向かって発展していった日立市とその産業の歴史について、貴重な資料をもとに学ぶことができました。

茨城県の歴史、風土、産業、地域資源などについて理解と見識を深め、その魅力を再確認していただく機会となったのではないかと考えます。



第3講井上氏講演



第4講木内酒造見学風景



第4講小平記念館にて



第4講日鉾記念館にて

「限界の正体～自分の見えない檻から抜け出す法～」



主催者 阪支部長挨拶

土浦・石岡・つくば地区支部、取手・龍ヶ崎地区支部、県西地区支部、古河・坂東地区支部、鹿行地区支部の5支部は、9月10日（月）、オークラフロンティアホテルつくばにおいて、県南・県西・鹿行ブロック会員交流会を開催した。

はじめに主催5支部を代表して、阪好弘古河・坂東地区支部長（京三電機（株）代表取締役社長）、本部役員挨拶として加子茂会長（（株）日立ライフ 取締役社長）から挨拶。中島健輔取手・龍ヶ崎地区支部幹事長（日本メクトロン（株）人事部長）の司会進行で進められた。

その後、講演会では、元陸上競技選手で男子400メートルハードルの日本記録保持者であり、現在、株式会社デポルターレ・パートナーズ代表の為末大（ためすえ・だい）氏から「限界の正体～自分の見えない

檻から抜け出す法」と題して講演を頂いた。

為末氏は、「過去に世界初、1マイル4分切りを成し遂げたロジャー・バニスターという選手がいました。当時、陸上競技の歴史の中で、長らく超えられなかった

1マイル4分切りを、ロジャー・バニスターが超えたその年に、複数の選手が4分切りを次々達成してしまったのです。これに興味を持った学者が分析した結果、「人間は誰かが出来たことに対し、自分にも出来るのではないか、とマインドセットすることにより、これまでできなかったことが出来るようになってしまう。」との見解を示しました。これは、陸上競技の選手に限定されず、どのスポーツにもマインドセットが極めて重要になるということを裏付ける事例であると思います。更に言えば、どの道を極める人々も、このような身体的な問題のほかに、心や考え方が大切

であり、そこにこそ成功の鍵があるのではないかと思います。」など、自身の体験、考え方についてご講演を頂いた。

講演終了後、グロービス経営大学院・茨城水戸特設キャンパスリーダーの川崎篤之氏にコーディネーターをお努めいただき、為末氏とのトークセッションが行われた。

トークセッション終了後には、交流パーティを開催し、塙秀雄鹿行地区副支部長（鹿島都市開発（株）代表取締役社長）の乾杯挨拶で始まり、参加者間の交流が積極的に行われるなど、終始和やかな雰囲気の中で会は進められた。

中締めとして、本部役員の高橋日出男副会長（（株）協立製作所 代表取締役）より挨拶いただき、散会となった。



講師 為末大氏

起業から現在までの道のりと働くということ

株式会社鈴木ハーブ研究所 代表取締役社長 鈴木 さちよ氏



私は本学出身なので、こうして皆さんにお逢いできることを嬉しく思います。私は卒業後、取得資格を活かして司書として勤務し、結婚を機に専業主婦となりました。

後に次女が生まれてすぐアトピーになり悩んだ時に、お医者様に“保湿が必要”と聞いて試行を重ね、保湿に優れた納豆の成分(ポリグルタミン酸)に巡り会いました。市販品が無い為、無いなら作ってみようとして原料メーカーに直接掛け合い「納豆ローション」を製品化する事になり、娘も肌がみるみる綺麗になり口コミで分けて欲しい人が増え2004年に起業するに至りました。

製品の条件として「安全安心・効果実感・本質的に良いもの」と定め、原価が高くて悩める人に良いものを直接届けたいという想いから、化粧品

通信販売という業態を選択しました。ゼロから自分達で手掛けて来たこともあり、顧客と直接接し供給責任を担えるように、組織形態は商品開発・販売促進・お客様サービス・配送と自社で一貫して行う「フルフィルメント体制」を導入しております。

創業して数年後には、経営理念づくりに着手しました。これは、社員全員の考え方や行動が同じ方向に向くために必要と感じたからであり、社員と勉強会を重ね完成させました。同時期にハーブガーデンを造園し、自分達の利用しているハーブを知るため、また生活を豊かにするハーブを地域の方々にも知っていただくためにハーブ園を一般公開しワークショップやクラフトや苗の販売なども行なっております。

近年においては、筑波大学の学生と「納豆ローション」のパッケージプロジェクトを実施しました。又、筑波山麓固有種の福来みかんを茨城県の工業技術センターに協力いただき「福来みかんハンドクリーム」を製品化しました。他に、関東

経済産業局「Challenge Local Cool Japan in パリ」事業に参加しております。

私が働くうえで大切にしていることは、働くことを「作業」ではなく「仕事」にすることです。つまり、志や目標を持ち、この事がどんな可能性を秘めているのだろうと夢を膨らませ仮説検証する事。また、今後は「着眼大局着手小局」の言葉のように全体的な視点を持ちできるところから始める行動力、汎用型AIに対抗した柔軟さに富んだ発想や働き方も重要になってくるであろうと思います。

若い人に求めたい資質としては、「柔らかさ」(既成概念にとらわれない姿勢、変化への対応、周囲を巻き込んで進める協調性)、「前向きさ」(失敗を財産に変える意識、チャレンジ精神)、「素直さ」(謙虚に吸収する豊かさ、裏表のない純真さ)があります。また、学生時代に養って欲しいこととして、「視野を広げること」「リアルな実体験をすること」「自分を知ること」を心掛けて欲しいと思います。学生生活の今こそ、視野を広げおおいにチャレンジし、次の時代を作る力の元を蓄えてください。

「ローカルラジオの現在と未来 ～活字、音声メディアの復権へ～」

株式会社茨城放送 代表取締役社長 北島 重司氏



茨城放送は県域ラジオ放送局であり、1963年4月1日にAMを開局して、今年で55周年を迎えました。AMは1197kHzと1458kHz、2015年に新に開局したFMは94.6MHz、88.1MHz。県内唯一の民放局であり、NRNネット（ニッポン・文化放送）に加入しております。ラジオはAM、FMに加えて、radikoで放送・配信しており、近年若者のラジオ接触率が高まっております。また、スマート（AI）スピーカーの登場も追い風になっております。

茨城放送の組織は、編成局・営業局・総務局で構成されております。編成局には編成制作部と報道防災センター、営業局には営業部と企画事業部、総務局には総務部総務課と経理部経理課があります。

茨城放送の基本方針は「地域

の財産になろう」であり、①面白い番組、②役に立つ情報、③政策にインパクトを与える報道、3つの目標を設定しております。さらに、「プロジェクトIBS」と銘打った3つの戦略を掲げております。すなわち、IはIT戦略であり、動画、radiko、SNS、AIの活用。Bは防災戦略（防災ステーション宣言）であり、毎月11日を防災の日と定め、防災訓練・シェイクアウト訓練を実施しております。Sはステーションイメージアップ戦略であり、イベント、コンサート、ラジオまつりを行っております。

会社が求める人材は、①想像力のある人（想像力を重要だと考える人）、②価値観を共有できる人（一緒に働きたいと思える人）、③オンリーワンを目指す人（野心的な人）、④自分の意思を表現できる人です。

働くことの意義とは何か。それを考える際のヒントは、内田樹氏の「キャリアの扉にはドアノブがない」であり、つまり、自分がドアを開けたのではな

く、開けられたと考えるべきです。「適職」「天職」は錯覚に過ぎない。まずは、ドアをノックすることが大切だと思います。

ラジオの未来を考えると、現在のラジオはITと融合して進化しております。これからのラジオを考える際、タイムフリー、シェアラジオ、ラジオ波とネットのいいとこ取りであるハイブリッドラジオ、試験的に取り組んでいるAIアナウンサーが注目されております。日本のラジオ局は101社しかありませんが、アメリカには11,000局以上存在しており、コンテンツのカギは、生放送と地域性です。ラジオの信頼度は、新聞・雑誌に次ぎ、茨城放送のFM局対象エリア世帯数は、茨城県の2.3倍にも及びます。

最後に、ラジオは想像力を掻き立てるメディアであることを知っていただきたいと思っております。パーソナリティ、ドラマ、CM、リスナー、時報の有無の点でラジオはテレビと異なり、想像力は人間の最も大事な能力である。是非、ラジオを聴いてください。

「会社に求められる人材と会計事務所の業界」

コンパス・ロイヤーズ会計事務所 代表税理士 井野 武士氏



会計事務所とは、税理士が運営する事務所であり、個人や中小企業の「税金」にまつわる様々なサポートをする仕事を行っているサービス業です。所得税、法人税、相続税など、ほぼ全ての税金を取り扱います。必要な資格は簿記であり、事務所で働く上では、税理士資格は必ずしも必要ではありません。

会計事務所の仕事は、企業の経理代行、企業の決算書、申告書の作成・提出、相続に関する手続きの代行などです。仕事の魅力は、まず社長に頼られることです。税務・会計の専門家として、社長から様々な要望を受け、それに対するアドバイスなどを行います。つまり、社長のビジネスパートナーという役割を担い、また、多種多様な業種の会社や社長とお会いします。さらに、税金や社会保障

等の制度全般を良く理解していることから、転職先が豊富で、経理・総務で重宝されることも魅力であります。

当事務所は、水戸市五軒町にあり、設立して4年が経過し、従業員は8名です。

事務所の理念の1つ目は「地域貢献の追求」。私達は、常にお客様の真の利益とは何かを考え行動し、お客様の永続的発展に寄与し、地域そして地域経済の活性化に貢献していくことを理念としております。2つ目は「楽しさの追求」。私達は、スタッフ一人ひとりが信頼できるパートナーとして、人間的に成長し、夢と誇りを持てる楽しい職場づくりを目指しております。3つ目は「サービス業の追求」。私達は、サービス業として、さらに税務・会計のプロフェッショナル集団として、お客様に喜んでいただける情報を提供し続けることも理念であります。今後は、2019年に他県（埼玉・東京）に進出すること、2020年には従業員数を3倍にすること、2023年には売上高を現在の3倍に引き上げることを計画しております。

私自身の自己紹介をすると、埼玉県出身で早稲田大学を卒業しました。卒業後には、東京の損保ジャパン日本興亜に3年半、茨城の会計事務所に3年半勤務した後、コンパス・ロイヤーズ会計事務所を開業しました。その他、茨城県相続相談センター代表、(株)IBIC代表取締役、(一社)カミスガ・プロジェクト理事も就任しております。

当事務所の採用基準は、“コミュニケーション力のある人”すなわち、自分の言葉で自分の考えを表現できる人や、“モチベーション”すなわち、チャレンジ精神を持って自己実現をしようとする人です。

結びに、もし私が大学生生活をやり直せるなら、1つには、誰にでも自慢できることを作りたいと思います。例えば、海外ボーイスカウト等で海外生活やボランティア活動です。2つには、資格取得で簿記および行政書士などを取得したいと思います。3つには、バイトであり、ホテルや結婚式場で敬語や礼儀などを身につけておきたいと思います。いずれにしても、自分が本当にやりたいことを良く考えて、学生生活を過ごしてください。

地域関係委員会

第2回委員会を開催
～経団連「企業行動憲章」から今求められる企業行動を学ぶ～



地域関係委員会（委員長 松本健一郎氏 東日本電信電話（株）茨城支店長）は、8月31日（金）、京成ホテル（水戸市）において、本年度第2回目となる委員会を開催。松本委員長、豊崎繁副委員長（茨城いすゞ自動車（株）代表取締役社長）はじめ、15名の委員出席のもと、30年度の進捗状況について報告がなされた。

委員会終了後は、本年度取り組んでいる「茨城における企業行動憲章」の改定に向けてのヒアリングと位置づけ、日本経済団体連合会 SDGs本部長 長谷川知子氏から「地域企業の持続的発展のため、今求められる企業行動を学ぶ ～経団連の『企業行動憲章』ならびに『企業行動憲章の手引き』の解説を中心に～」をテーマにご講演頂いた。

長谷川氏によれば「経団連が定めている『企業行動憲章』は昨年11月8日に時代の変遷にあわせ5回目の改定を行った。『企業行動憲章』とは、経団連の会員企業（約1350社、主要な業種別全国団体109団体、地方別経済団体47団体など）に対して、遵守を求める行動原則のこと。憲章の副題は『持続可能な

社会の実現を目指して』。経団連は『企業は、公正かつ自由な競争の下、社会に有用な付加価値および雇用の創出と自律的で責任ある行動を通じて、持続可能な社会の実現を牽引する役割を担う。そのため企業は、国の内外において次の10原則に基づき、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たしていく』ことを憲章に通じ企業に求めている。またこのたびの改定では、2015年9月の国連サミットで採択された『持続可能な開発目標（SDGs）』（2030年までの17ゴール・169ターゲットを定めた）について民間企業の取り組みを更に後押しすることを言及している」とのこと。

経営教育委員会

平成30年度 第2回委員会を開催

経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行 取締役会長）は、9月12日（水）、経営者協会会議室にて本年2回目となる委員会を開催。当日は、事務局含め23名出席のもと、本年上半年に実施した事業報告と下期に開催を予定している事業の具体化について協議がされた。
【今後、同委員会で予定されている事業は下記参照】
① 第9期 管理職リーダーのた

めのマネジメント講座 ※3回シリーズ
テーマ：管理者に必要な基本的要素を網羅する ※TWI-JI（必ず覚える仕事の教え方）を学ぶ
開催日：1/15（火）、1/29（火）、2/18（月）時間は何れも10:00～17:00
講師：日本産業訓練協会主幹 講師 府川亮一氏
場所：ホテルレイクビュー水戸

② 研修スタッフのための企画・運営実務講座
テーマ：社内教育担当者を対象に、社員教育のあり方・進め方を学ぶ
開催日：2/13（水）9:00～17:00
講師：日本産業訓練協会主幹 講師 山口和人氏
場所：茨城県産業会館

経営教育委員会

第3期 総務担当者向け研修会（2回シリーズ）を開催

経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行取締役会長）は、8月23日（木）と31日（木）の2日間に亘り茨城県産業会館において、総務担当者を対象にした「第3期 総務担当者

向け研修会」を開催。テーマを“期待される総務担当者になるための基本と実務～庶務的総務から経営的総務へ～”として、計85名の参加を得た。
講師には第1期より指導頂

いており、当会経営教育委員会副委員長を務める 社会保険労務士法人葵経営 代表の皆川雅彦氏に引続き指導頂いた。
同研修は、現在総務を担当されている方の業務範囲&内容

の再確認をして頂く機会として、また法改正等により昨今新たに届出が求められている提出書類の整理など、総務業務を効率的に進める勘所や、実務上押さえておくべきポイントを整理する、また講義だけでなく、他企業からの参加者とのディスカッションや情報交換の場も設け、自分の仕事の進め方における改善点など気づきを得られることをねらいとしている。

参加者アンケートでは「“働き方改革”など、最近のトレンドも押さえた講義で、その概要や自社で備えて置くべき点などが整理され、良い勉強の機会となった」、また「総務業務を担当して長い、他社がどのように進めているのかなど、なかなか知る機会もない中で、グループディスカッションや情報交換の機会はとても新鮮で有難かった」といった意見が寄せら

れていた。



科学技術委員会

第1回委員会を開催



科学技術委員会(委員長 柳澤志好氏(株)日立製作所 理)

事日立事業所長)は、9月5日(水)当協会会議室において、委員会を開催した。

当委員会では、県内のものづくり企業の技術力・製品開発力の向上を支援するために、企業間の交流や産学官連携の機会創出、科学技術・産業振興に関する行政施策に当協会会員の意見を反映することをねらいとして事業活動を実施。

委員会では、本年度の科学技

術委員会関係活動について協議検討し、新企画となる“ものづくり商談会(案)”の内容や“県産業戦略部との意見交換会(案)”の計画、“委員増員(案)”の計画について、確認をした。

なお、委員増員にあたっては、次回の第2回委員会にて承認を経て、来年4月に新委員が就任する予定。

支部だより

OCT. 2018 Branch office report

日立地区支部

新たな役員体制にて今後の支部活動について協議を行う

日立地区支部(支部長 館岡司氏 日立埠頭(株)取締役社長)は9月4日(月)、アルフレスコダイニング(日立市幸町)において本年度第1回役員幹事会(幹事長 稲川修氏(株)日立製作所日立事業所庶務課長)を開催した。

はじめに、館岡支部長が「去る6月、日立ライフ加子社長が経営者協会の会長に就任された。加子会長のお膝元である当支部においては、これまで以上に加子会長を支える必要を感じている。支部を活性化させる第1歩として、このたび活動を支えて頂く役員幹事の

方々を増員させて頂いた。新たにご就任頂いた役員幹事のみなさまには、快くお引受け頂いたことに厚く御礼申し上げます。本日は支部活動のさらなる活性に向けて、新たな視点で忌憚のないご意見を頂戴したい」と挨拶をした。引き続き、澤畑副会長が新任役員への感謝の意を表し、挨拶を行った。

その後、日立地区支部の今後の活動について協議検討が行われた。主な意見としては、以下の通り。

- ・日立地区、そして県北地域の共通の課題は、人口減少問題と観光振興ではないか。人



口減少と観光振興の2つの大きな課題について、県が掲げる政策をお聞きすることは有益ではないか。

- ・県北地域からの人口流出の課題に対して、どのセクターで、誰が、何をすべきか、と

いった指針があまりクリアになっていないように思われる。人口減少は、減少の速度を遅くすることは出来たとしても減少自体を止めることができないものと捉え、その上で、将来日本がどのような社会、経済状況になっていくのかのグランドデザインを学ぶべきと考える。

- ・現在会員企業が1,200社を超えているが、その1,200社の中で活動に参加していない会員も散見される。これまで活動に参加していない会員が参加したいと思うのは、ネームバリューが高い講師に登壇頂くことが有効ではないか。
- ・本県が有し産業発展に活用可能な「J-PARC（大強度陽子加速器施設）」を視察してはどうか。
- ・来年3月に現JX金属の大煙突を主題とした映画が公開される（「ある町の高い煙

突」）。日立市に住んでいても訪れたことのない場所、知らない歴史が多くある。「日立」を学び直す視察を検討してはどうか。

- ・本県に大規模事業を立地された企業がどのような戦略であったのかを聞いてみたい。その戦略から本県の優位性が見えてくる可能性もある。
- ・例年開催している産業懇談会は、高校生を採用するためのイベントとしては有益と思う。企業が多く若者を採用すれば、日立市の人口増にも繋がっていくと思われる。多くの会員企業が参加されるように広報をお願いしたい。

役員幹事から多くの日立地区支部の活動の方向性について意見が出され、次回役員幹事会において、更に検討を進めることとなった。役員幹事会終了後は同会場内にて懇親会を

開催した。

【新任役員幹事】

- ・副支部長 煙山弘氏 日立精錬（株）代表取締役社長
- ・副支部長 磯崎寛也氏 茨城電機工業（株）代表取締役副社長
- ・副支部長 神山靖基氏 三菱日立パワーシステムズ（株）日立工場副地域統括兼経営総括部副総括部長
- ・副幹事長 志智俊郎氏 日立埠頭（株）総務本部総務部部長
- ・幹事 左子幸治氏（株）JWAY代表取締役
- ・幹事 櫻井紳一氏（株）常陽銀行日立支店長
- ・幹事 鈴木孝昌氏（株）セイキョウ代表取締役
- ・幹事 長尾丈男氏 泰榮エンジニアリング（株）代表取締役社長
- ・幹事 吉田長邦氏（株）吉田組代表取締役

常陸・那珂地区支部 常陸・那珂地区支部主催 “第2期 自立型中堅リーダー養成講座” を開催



常陸・那珂地区支部（支部長 柳生修氏 コロナ電気（株）代表取締役社長）は9月5日（水）、ホテルクリスタルパレスにおいて昨年に引続き「自立型中堅リーダー養成講座～現場が分かり、管理ができるプレイ

ングマネジャーを目指す～」をメインテーマとした研修講座を開催。81名が参加した。

同講座は、タナベ経営のカリキュラムをもとに、企業の発展に欠かせない“中堅リーダー”を対象に開催されたもので、今一度、組織内で求められている役割の再確認と、リーダーに求められる条件について、複数のケーススタディを踏まえ、また他参加者とのグループディスカッションを通じながら“学び”や“気づき”を得ることをねらいとして開催。講師には、タナベ経営東京本部経営コンサルティング本部部長代理・チ

ーフコンサルタントの小池一尋氏をお招きし、1日コースで指導頂いた。

参加者からのアンケートでは「自分の考えていたリーダー像とのギャップについて考えさせられた。また計数感覚の講義においては、これまであまり意識していなかった点を気づかされ、大変勉強になる機会であった」といった意見が多数寄せられたほか、改めて“計数管理”をテーマにした研修会開催へのニーズも数多く寄せられ、今後の研修事業テーマとして取り入れて参りたい。

古河・坂東地区支部

労働法セミナーを開催

古河・坂東地区支部（支部長 阪好弘氏 京三電機（株）代表取締役社長）は9月5日

（水）、ホテル山水（古河市中央）にて“労働法セミナー”を開催した。46名が参加した。

同セミナーは“労使トラブルの増加により、労務管理の認識不足が指摘される小規模事業

所では、金銭的な負担だけでなく、精神的も、時間的にも、企業経営に影響を及ぼしかねないほどの重大な問題が生じている”ことを背景に、事前の対策があまり講じられていない小規模事業所の経営者および担当者を対象に、法律の知識だけでなく、実際の現場で起きた様々な事例を中心に、**笹沼社会保険労務士事務所**の**笹沼耐行氏**をお招きして指導いただいた。

本件テーマを「労使トラブルを発生させない為の労務管理～紛争事例からみる対応のポ

イント～」とし、1. 労使トラブルを発生させない為に知っておくべき知識（雇用契約書などの書類の不備、最低限のルール、今後の法改正予測）、2. 近年の労使トラブル事例（未払い残業、ハラスメント、有給休暇、健康管理問題）、3. 行政指導、個別紛争、労働審判などによる多様化（労使トラブルに対する初動対応と事案を悪化させない為の見極め）などの3項目を中心に、対応策を解説頂いた。

本セミナーの参加者からは、「事前の対策、事後の処理に関して、専門知識をお持ちの先生

の話聞くまでは、どうしようもないとあきらめていた事象も、解決の糸口があることを知った。」「年次有給休暇の法改正に伴う実務や対策への考え方は非常に参考になった。」などの感想が寄せられた。



鹿行地区支部

労研主催 臨地研修会を開催 ～日本ナショナル製罐株式会社を見学～



鹿行地区支部労働問題研究会（座長 永松才寛氏 新日鐵住金（株）鹿島製鐵所 労政人事室長）は、臨地研修会を9月6日（木）に開催、10名が参加した。

今年度は、石岡市の日本ナショナル製罐株式会社（石岡市柏原9番地2）を見学。同社は、1972年12月にアルミニウム缶の製造・販売を目的として、米国のナショナル・キャン（National Can Corporation）の技術供与を受け、日本軽金属（株）、ナショナル・キャン・オーバーシーズ社（National Can Overseas）日綿実業（株）、川崎製鐵（株）、（株）第一勧業銀行、（株）三和銀行の6社の出資により、東京都中央区銀座に現社名にて設立された。現在の石岡市には、1974年5月に工場が完成し、操業を開始（No. 1ライン）。同社が製缶する商品のほとんどは、アサヒビール（株）へと納品される。2004年7月より東洋製罐（株）のグループ会社として、徹底した6Sを実践し、他社との差別化を

図っている。

当日は、会社概要および自社動画をご紹介いただき、製造現場や関連施設を見学した後、専務取締役工場長の飯田啓二氏、生産企画部総務課長の宮城典崇氏より、同社の6Sをはじめとする様々な取り組みについてご説明いただいた。

「6S」の考え

1. 「6S」は、物作りの原点です。それが出来て始めて良い製品、良い仕事が出来ます。
2. 「6S」をつうじて人を育て意識を変える事により心意気を感じ、達成を楽しめる会社です。
3. 「6S」は、「どうしたらきれいになるか」ではなく「なぜ、きれいにするか」を考え行動することです。

「作法」…**思いやり**。相手に対する思いやり。

「躰」…決めた事、決められた事を守る。

「整理」…要るものと要らないものを分け、要らないものを捨てる。

「整頓」…要るものをすぐに取り出せるようにする。

「清掃」…汚れ、ゴミ、ホコリを取り除く。

「清潔」…3S（整理、整頓、清掃）を維持する。

上記の中でも大切にしているのは、「作法（思いやり）」である。宮城課長の説明によれば、

「仮に、自宅のテーブルに醤油がこぼれている。これを、“15時になったらやろう”とか“これは母親の仕事だ”と言って、その場に放置するのか。大人（社会人）であれば、すぐに拭こう、となるはず。この当たり前の感覚（思いやり）を会社でも取り入れるだけのこと。（6Sを同社に導入した社長の考え）」というものであった。「作法」にある思いやりというのは、家族や家庭にある思いやりを、会社やそこで働く従業員にも向けて欲しいという思いによるものである。

参加者からは、「金属加工業とは思えないほど、キレイで驚いた。役割分担をあえて決めず、気がついた人がその場で清掃できるように、工場内のいたるところに清掃用具が置いてあることにも驚いた。」または、「社員の6Sへのモチベーションを、保たせることはさることながら、これを売上げや利益率へ繋がられていることは、本当に素晴らしく思います。」との声が寄せられた。



制度に縛られない取り組みについて

茨城NPOセンター・commons 代表理事 横田 能洋

NPOの全国組織の事務局をしている関係で各地に出向くことがあります。今回は北陸に行くことになり、富山市にある「このゆびと一まれ」に立ち寄りました。住宅街にある家のリビングでは高齢者が縫い物をし、畳の部屋では横になっている人が居て、障害のある人もスタッフに混じり、スタッフの子もいるようなみんなの居場所になっています。それでいて看護や介護のスタッフもさりげなく関わっているので安心できます。従来の施設は、高齢者、障害者、子どもは別の建物でそれぞれ定員やスタッフが決まっていますが、ここは混ざっています。自宅のような空間で思い思いに過ごし、できることは互いに手伝う共生ケアは25年前にこの場から始まり、認知症の方にとっても子どもにとっても効果があるとされ、今では全国に1500を超える場ができています。富山方式の特徴は、特区なども使い独自の補助を作ったことで、同県には民家や店舗を改修した

共生ケアの事業者が沢山出ています。今年の介護保険改定でも共生ケアが導入され、今後はさらに全国に広がるでしょう。

私たちcommonsが常総の空き家を「えんがわハウス」に改修しているのも、共生ケアのように人をわけない福祉、皆が来られる場を作りたいと思っていますからです。ハウスでは改修が済んだ建物で多文化保育が半年前から始まり、障害のある人たちが母屋の改修や庭の整備に来ています。地域の高齢者の方が気楽に来て自宅のように過ごせる空間をどう作るかがこれからです。高齢者デイサービスに行こうとしない義父も自分の居場所だと思えるような場にしたい、子どももいて、障害のある人も外国籍の人も働いている、そんな場を目指しています。

15年前に当会が水戸で作ったコミュニティレストラン「とらい」も制度外の実践でした。企業の助成と市民からの借入れで作った16席の小さなレ

ストランは、引きこもりがちな青年が調理や接客を通して社会に関わる練習をする場でした。実際には発達障害があっても障害者手帳を持たない場合は福祉制度の対象にならず、公的支援は15年間ありませんでしたが、それでも事業は継続しました。(途中からお弁当屋に変更しました) ボランティアがそれを支えられたのは、時間はかかりましたが、青年が徐々に変わってく姿を見ることができたからだと思います。「とらい」は、青年たちの次のステージを作るために今年閉じることになりますが、私たちは来春、常総に新たなコミュニティレストランを作ります。世代や課題ごとに対象をわけてサービスを一方的に提供するのではなく、その人らしく共に過ごし、共に何かを作る場は、人が変わり、新たな価値を創造できます。制度に縛られない福祉を開拓するのがNPOだと思います。

セミナー開催・事業案内

11 月	1日(木)～ 2日(金) 両日とも 9:30～ 17:00 県産業会館	<p>◆第17期ISO9001内部監査員養成研修会</p> <p>講師：元(株)ニコン 高橋清氏</p> <p>【内容】</p> <p>(1日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス、ISO規格の解説、規格の理解度チェック、内部監査とその技法について、不適合判定力チェック、宿題(チェックリストの作成について) <p>(2日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイング(監査の模擬訓練：チームミーティング、チェックリストの作成、オープニングミーティング、証拠の収集、クロージングミーティング、講評)・修了テスト(理解度チェック)、総評、修了証書授与
	5日(月) 13:30～ 15:30 坂東市	<p>◆環境先進企業見学会</p> <p>テーマ：本年2月開所 最新鋭のリサイクル工場を見学</p> <p>【視察先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャノンエコロジーインダストリー(株)
	7日(水) 15:00～ 18:00 三の丸ホテル	<p>◆特別講演会・新入会員歓迎の交流懇親会</p> <p>テーマ：私が見てきた“良い会社の条件” ～「日本でいちばん大切にしたい会社」で人財育成とは～</p> <p>講師：人を大切にせる経営学会会長 元法政大学大学院教授 坂本光司氏</p> <p>【内容】</p> <p>全国6,300社を超える中小企業社を訪問、あらゆる業界の現場を見る現場主義。人を大切にする経営学会会長はじめ、国・県・市町や商工会議所等団体の審議会や委員会の委員も多数兼務。著書「日本でいちばん大切にしたい会社」など多数。</p>
	15日(木)～ 16日(金) 長崎方面	<p>◆視察会</p> <p>テーマ：生産性向上・変革し続ける先進企業から学ぶ</p> <p>【視察先】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ハウステンボス・「変なホテル」 ②ジャパネットタカタ本社・テレビスタジオ ③長崎造船所 史料館
	29日(木) 13:30～ 17:00 県産業会館	<p>◆第17期取締役・役員のためのマネジメント講座(4回シリーズの第3講)</p> <p>テーマ：取締役・役員の役割、責任、必要事項をテーマ毎にシリーズで学ぶ</p> <p>講師：財務リスク研究所(株)代表取締役 横山悟一氏</p> <p>【内容】</p> <p><簡単にわかる!決算書の見方・読み方></p> <ol style="list-style-type: none"> ①黒字でもキャッシュが残らない理由 ②経営者は損益計算書よりもバランスシート感覚が重要 ③ビジュアル分析で資金繰りの勘所をつかむ ④実際の企業決算書を題材になぜ破綻したのか分析する ⑤金融機関との付き合い方

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。
地域エリアの皆様とともに、未来に向かって力強く前進いたします。



あゆみ 筑波銀行は地域振興支援プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。



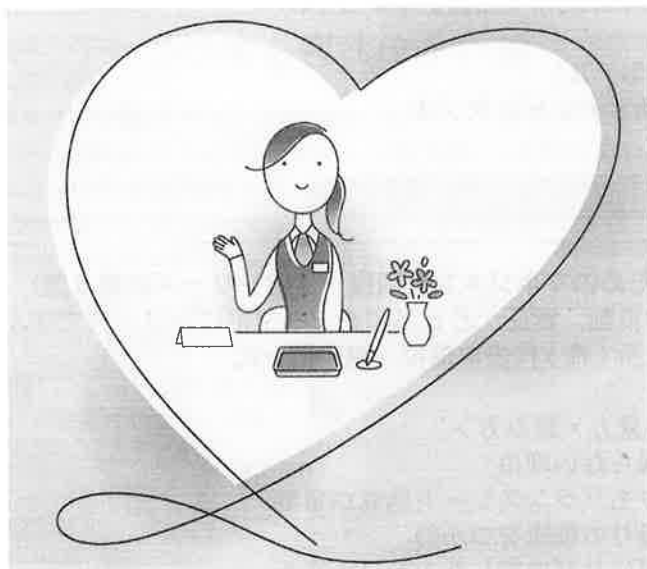
<http://www.tsukubabank.co.jp>

筑波銀行

検索する

 筑波銀行
Tsukuba Bank

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたにも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

 常陽銀行

 MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

そうだ。口座振替にしよう。

口座振替はこんなに便利です!!



銀行に行く手間や都度のお振込手続きが不要!!



お振込手数料の負担がなくなります!!



通帳にて引落とし内容をご確認いただけます!!



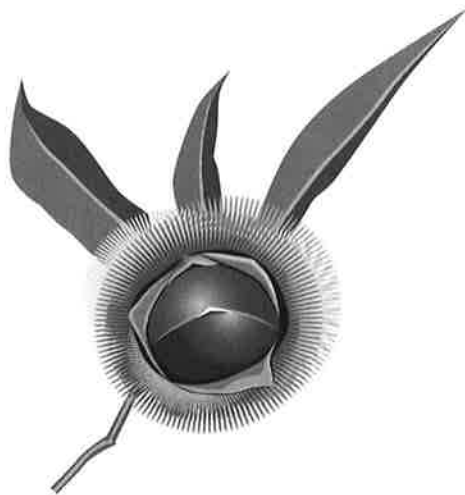
茨城経協

お問い合わせはこちらまで

一般社団法人 茨城県経営者協会

事務局担当 / 石川・澤畑

TEL 029-221-5301



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ


CROWN



HYBRID 2.5 RS Advance

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

Flow chart

賃金関係 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?

労働組合 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?

助成金制度 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか? 活用できる助成金制度について教えて欲しい。

人事労務 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

精神疾病 メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?

その他 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関することの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に最適な専門家を紹介

協会・顧問弁護士
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営
コンサルタント

その他
各専門家

お問い合わせ: 一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL: 029-221-5301 FAX: 029-224-1109
E-mail gotou@ikk.or.jp